

プレスリリース（※ドイツにて2023/10/31に配信された和訳版）

## Miele、German Sustainability Awardで2度目の受賞



- ▶ 環境と社会への取り組みを表彰するヨーロッパ最大の賞
- ▶ 家電部門の審査員団はMieleの包括的な取り組みを高く評価

ドイツ・ギュータースロー発、**2023年10月31日** 世界をリードするプレミアム家電メーカー **Miele**は、**German Sustainability Award 2024**を受賞しました。**2014**年以来**2**度目となる今回は、新たに創設された「家電」部門での受賞で、最もサステナブルな企業として、あらゆるレベルでのサステナビリティ向上に向けた戦略と行動による確かな実績が認められました。その実績は、製品の長期使用と省資源な生産方法だけでなく、サプライチェーンと従業員に対する明確な責任や**CO<sub>2</sub>**排出量削減を目的とする方策によっても証明されました。

Mieleの人事およびサステナビリティを含むコーポレート業務担当エグゼクティブディレクターであるRebecca Steinhage（レベッカ・シュタインハーゲ）は、「今回、意義深い賞を新たに受賞したことは、弊社のサステナビリティ戦略の徹底した追求と取り組みを一貫して推し進める努力を裏付けるものです」と述べています。Mieleは、2014年に、「持続可能なコーポレートガバナンスにおける高度な継続性」が認められて本賞を初受賞しました。それ以来、この継続性を今日に至るまで守り続けています。家電製品の循環型バリューチェーンの確立を目標に、気候保護と資源保全に重点を置いています。「弊社製品が寿命を

「終えたときに、すべての使用材料が資材サイクルに戻される状況の達成を目指しています」と、Steinhageは長期目標を説明します。Steinhageは、11月23日にデュッセルドルフで行われる授賞式に出席する予定です。

German Sustainability Awardは、企業が自ら掲げた意欲的な目標だけでなく、何よりもこれまでの成功をたたえるものです。大きな比率を占めるのは、いろいろな点において製品自体に起因すると考えられます。コーポレートサステナビリティおよび規制業務担当バイスプレジデント兼サステナビリティ戦略責任者であるChristoph Wendker（クリストフ・ヴェンドカー）は、「弊社製品は、エコプログラムで使用した場合に非常に優れているだけでなく、どのプログラムで日常使用しても省エネルギーであることが証明されています」と述べています。MieleのCO2収支を一目見ればこの重要性がわかります。CO2排出量の約83%は、製品の使用段階で発生します。これはMiele製品がとりわけ長期使用できるためです。弊社では20年の使用に相当する製品テストを実施しています。Miele製品の卓越した修理のしやすさは、EUの法令で義務付けられているためだけでなく、長期間の使用に貢献しています。それに加えて、Mieleは約72,000種の機能部品の予備部品を生産中止から最長15年間在庫しています。15年という在庫期間はこの業界では極めて異例なことです。

**Miele**のサステナビリティ戦略の焦点は、気候保護とサーキュラーエコノミー（循環型経済）

製品と並んで、再生可能エネルギー利用拡大に向けた取り組みも審査員に高く評価されました。Mieleは2021年以来、CO<sub>2</sub>ニュートラルに移行しており、さらなる排出量削減に向けて一層努力をしています。全生産拠点でグリーン電力を購入しているだけでなく、太陽電池アレイや地熱発電所で自家発電や自家発熱も行っているか、そうした施設の整備を進めています。また、気候に優しいエネルギー源を利用して生産されるグリーンスチールやグリーンアルミニウムの利用を通じて、サプライチェーンのCO<sub>2</sub>排出量も削減しています。さらに、保有車両の電気自動車および水素燃料自動車への移行も本格的に進めています。

Mieleは、完全なサーキュラーエコノミーを実現するという目標の達成に向けて、中古家電製品の改修や材料の再利用などのさまざまなコンセプトの開発と検証を行っています。さらに、リサイクルにも注目しています。再生プラスチックをテストし、すでに利用しているほか、材料を節約する新しい生産プロセスも開発しました。気候保護と資源利用節約と並んで、社会的責任もMieleのサステナビリティ戦略において重要な役割を果たしています。これは、サプライチェーンとMiele Groupの2万3,000人を超える従業員の両方に当てはまります。一例として、Mieleは社会的責任に関する国際規格SA8000の認証を取得した数少ないドイツ企業の1つです。自社と上流サプライヤーに対し、人権および労働者の権利に関するさまざまな行動規範に加えて、この指令の遵守を義務付けています。

## 新たな方法論を採用したGerman Sustainability Award

German Sustainability Awardは、サステナビリティ実現に向けた、長く厳しい道で成功を収めた、あらゆる産業部門の企業を表彰するものです。独立した専門家からなる審査員団は、企業や組織などの、サステナビリティに関する取り組みを示すサステナビリティプロフィールに基づいて、100部門の各分野をリードする企業を決定し、変革への効率的で見習うべき優れた貢献と模範を示した企業を部門ごとに認定しました。あらゆる産業部門から、あらゆる規模の企業が自由に参加できます。これと並んで、インターネット上でサステナビリティレポート、German Sustainability Codeの宣言書、企業ウェブサイトなどで公表されている公開データについて、AIを利用した包括的な調査も実施しました。これらのプロセスは科学的に同時に行われ、品質保証は手作業で実施されました。

企業概要：Mieleは、オープン・スチーム調理機器、冷蔵庫、コーヒーマシン、食器洗い機、ランドリー機器、掃除機などのプレミアム家電製品を製造する世界有数のメーカーです。当社の製品ポートフォリオには、業務用の食器洗浄機、空気清浄機、洗濯機、タンブル乾燥機、医療・研究所で使用される洗浄機や滅菌器も含まれています。1899年創業の当社は、ドイツに8工場、オーストリア、チェコ、中国、ルーマニア、ポーランドに各1工場、イタリアの医療技術子会社Steelcoに属する2工場で生産を行っています。2022年度の売上高は約54億3,000万ユーロでした。Mieleは、約100の国・地域に子会社である現地法人および輸入代理店を通じて展開しています。現在4代目となるファミリーカンパニーは、世界中で約23,300人の従業員を雇用しており、そのうち約11,900人がドイツで勤務しています。本社はウェストファーレン州グュータースローにあります

本記事には**1**枚の写真が付いています。



写真**1**：Rebecca Steinhage（人事およびコーポレート業務担当エグゼクティブディレクター）とChristoph Wendker（コーポレートサステナビリティおよび規制業務担当バイスプレジデント）は、グュータースローのMiele本社にある太陽電池アレイを含め、再生可能エネルギーへの取り組みを認めるGerman Sustainability Awardの受賞を光栄に思っています。（写真提供：Miele）

ドイツ本社サイトおよび本社運営ソーシャルメディアアカウント

記事および写真のダウンロード：[www.miele-press.com](http://www.miele-press.com)

ソーシャルメディアアカウント：

 @Miele

 @Miele\_com

 Miele